

『認知症ってなあに？』寸劇を交えながら分かりやすく学習！ 本市初！小学生へ認知症サポーター養成講座を開催（12/19）

龍ヶ崎市では、全国的な高齢化により、今後お年寄りの割合が増えていく社会環境において、次代を担う子どもたちにお年寄りのことや「認知症」について知ってもらうため、龍ヶ崎市立大宮小学校5年生を対象に『認知症サポーター養成講座※』を平成30年12月19日（水）に開催します。

なお、小学生を対象とした講座実施は本市では初めての取り組みです。



講座では、分かりやすい「教材」による説明や市職員による「寸劇」を交えたロールプレイなどを行い、小学生が理解しやすいようなカリキュラムを組んでいます。

受講後には、認知症サポーターとしての証である「認知症サポーター証」及び「オレンジリング」（写真）が本市マスコットキャラクター「まいりゅう」より、受講した小学生へ手渡されます。

今後、高齢化が進む社会で生きていく子どもたちに認知症のことを少しでも理解し、そのような人たちに温かい目で見守ることやちょっとした手助けをすることにより、人は支え合って生きているという実感を深めてもらい、思いやりや福祉の心を育むきっかけとしても小学生への当講座の実施は非常に有意義であると考えております。

※1 認知症サポーターとは…

市町村が実施する『認知症サポーター養成講座』を受講した人が、認知症への理解を深め、友人などに知識を伝えたり、認知症の方や家族を温かく見守る支援者になる取り組みです。

■ 日 時	平成30年12月19日（水） 午前10時40分から午前11時25分まで
■ 場 所	龍ヶ崎市立大宮小学校 （所在地：龍ヶ崎市大徳町4945）
■ 主 催	龍ヶ崎市
■ 参加者	大宮小学校 5年生 生徒18名（予定）

担当課	龍ヶ崎市 健康づくり推進部 健幸長寿課 地域包括支援センター 担当者：山口・糸賀（やまぐち・いとが） 連絡先：0297-62-8686（直通）
-----	---